企画・制作＝日本経済新聞社クロスメディア営業局

自然の中でゆったりペースの暮らしを楽しむ

熟年向け住宅の開発・提案続ける「暮らし方研究会」

熟年世代の暮らしとさまざまな住まいの相談窓口として、1992年11月に設立された「暮らし方研究会」（大阪市、津島素代表理事）。生活文化や新築・リフォームに関するセミナーや見学会などを定期的に開催するとともに、会員である建築家や工務店、住宅関連メーカーなどのサポートを得て、〝理想の住まい〟実現を多角的に支援している。同研究会の理念や活動などを紹介しよう。

心豊かな暮らしの実現をアシスト

現在、われわれを取り巻く社会環境は、地球温暖化の急速な進行をはじめ、環境保護対策の遅滞、貴重な資源の枯渇への憂慮、少子化問題の深刻化など、早急に手を打たなければならない重要課題が山積している。

その遠因は18世紀に英国で起こった第1次産業革命にあるとされる。自動車や蒸気機関車などの発明で商品の大量・高速・遠距離輸送が可能になった一方、食料の増産が進み、その確保が容易になったことから人口増と大量消費を生み、物質文明を興隆させる要因になったともいわれている。

「暮らし方研究会」はそうした物質至上主義やファーストライフと決別し、ものの豊かさよりも心の豊かさを求め、自然のゆったりとしたペースで暮らすことを提案している。ヨーロッパの格言に「親が家を建て、子が家具をそろえ、孫が食器を整える」というのがあるが、こんなゆったりとしたペースの暮らしを始めれば、資金的にも精神的にもゆとりが生まれ、地球に対するストレスも減るのではと同研究会は考えている。

暮らし方研究会の概念図

多彩な専門家や建築家がサポート

そこで同研究会では、現代を「どう暮らすか」と「どんな住まいを選ぶか」をテーマに掲げ、積極的で生きがいのある人生の過ごし方を提案・啓もうしている。

研究会では会員が住まいを改修・再生・還元、建て替え、新築、別荘建設などを行う機関するセミナーや見学会などは年6～10回開催している。現在一般会員は約1000家族で、その中で同研究会のサポートで住まいの新築・リフォーム、建て替え、別荘建設の夢を実現した家族は200件に達している。

年会費は1家族2000円。会員はセミナーや見学会に優先的に参加できるほか、無料の初期相談が受けられ、住まいの建築・リフォームを行う場合はサポーターである建築家が親身になって助言・提案を行ってくれる。

さらに工事中は安心・安全パトロールを定期的に実施し、建て主の精神的なサポートも行ってくれるといった特典がある。

200件超える新築・リフォームの実績

『日本の民家』のパイロットハウス8月に完成

研究会支援の民家シリーズを発売

一級建築士の新井律子（あらい・のりこ）氏が設計し、ツシマウッディランド事業部（津島素社長）がプロデュース、暮らし方研究会が特別支援した熟年向け住宅、民家シリーズ「日本の民家」と「フランスの民家」が今年3月に発表された。

民家シリーズは、暮らし方研究会が発足以来、追求してきた自然とともに暮らすとのテーマの具現化であり、仕事をリタイアし、里山で素朴な生活に戻りたい熟年夫婦向けにプランニングされたものだ。

8月に完成予定の「日本の民家」のパイロットハウス（三重県名張市安部田）は平屋建て、木造軸組工法（べた基礎）で延べ床面積は79・49㎡（24・04坪）。8畳のスペース、6つで構成されている。こだわりの間取りや将来の改修も容易にできるスケルトン・インフィルの住まいでもある。

完成後の見学会として第117回「リ・ライフセミナー、活動などを行っている。

活動実績として、この17年間で相談件数は2600件以上に上る。「生活文化」や「新築・リフォーム」などに会に、過去の暮らしを見直し、改善すべきところは改善するベストなタイミングととらえ、今の時代に即した「暮らし方」および「住まい方」を

パイロットハウス新築見学会」を8月30日（日）に開催予定で参加者を募集している。

本紙を見たと申し込めば優先的に参加できるので、ぜひ現物の見学をお勧めしたい。

また、フランス・プロバンス地方のワインセラー（地下室）付きの農家をモチーフにした「フランスの民家」のパイロットハウスを募集しているほか、今後も「ワイズホーム」（英国の山荘風の家、れんが造りの家）などの提案も続けていく方針だ。

同研究会ではネット会員も募集中。この機会に情報収集のため、入会を申し込んではどうだろう。

▲新築建物見学会・和気あいあいとしたセミナー会場風景

▶生活文化を学ぶ会のセミナーで訪れた箱木千年家。同家は「シリーズ・日本の民家」の開発参考モデルにもなった

新井律子＋ウッディランド倶楽部 共同プロジェクト　民家シリーズNo.1

www.woodyland.biz

熟年向け住宅プラン「日本の民家」を発表

〝平屋〟という贅沢。

「日本の民家」は仕事をリタイアし、里山で素の生活に戻りたい熟年夫婦に、何にも増して仲良く暮らしていただくため、現代のライフスタイルにも適応可能なプランとしました。平屋建、延床面積24坪・約80㎡は、先人の言葉にある「人は自然に遠慮して、小さく慎ましく暮らすべし！」という理念に基づきながら、独立した子供が孫たちを連れて帰られる〝実家〟を彷彿とさせる広さと機能を併せ持つ設計となっています。

見学者募集中！（完全予約制）
建設地　三重県名張市安部田（近鉄大阪線赤目口駅より徒歩約30分）

2009年8月完成予定

「日本の民家」パイロットハウス外観（2009年7月撮影）

パイロットハウス内観（2009年6月撮影）

私がお手伝いします！
「日本の民家」は8畳のスペース6つで構成されています。スケルトンインフィルの住まいとしてこだわりの間取りが可能です。百聞は一見にしかず！パイロットハウスの見学をぜひおすすめします。きっとあなたの中で何かが閃くはずです。そして、ご自分流の「終の住処」を実現させてください。

新井律子（あらい のりこ）
暮らし方研究会顧問／ウッディランド倶楽部チーフデザイナー
新井律子建築設計事務所主宰
http://www.arai-ksj.info

建築知識：スケルトンは骨格・構造体を示し、インフィルは内装・設備・間取りのこと
SI住宅はライフスタイルや家族構成の変化に応じて、多様な間取りが可能です

箱木千年家　（国定重要文化財／神戸市北区）

「日本の民家」
構造規模　木造軸組工法（ベタ基礎）、延床面積／79.49㎡（24.04坪）
外部仕様　屋根／カラーベスト葺、棟換気／ガルバリウム鋼板［パイロットハウスの和瓦はオプション］
外壁／モルタル掻き落とし、腰板／杉板張（国産材 幅180mm）
内部仕様　床／杉板（国産材 幅120mm×厚さ60mm）、壁／漆喰壁（真壁・柱120mm角）
天井／杉板張（国産材 幅180mm）

本体価格 1,680万円（税抜1,600万円）
「日本の民家」発表記念価格　限定10棟　特別価格1,470万円（税抜1,400万円）

●民家シリーズ No.2「フランスの民家」もご期待ください。

特別支援　暮らし方研究会 http://www.kurashikata.gr.jp
協　賛　箱木千年家、森林ボランティア「トモロス」
協　力　宏間建設工業㈱、トステム㈱、㈱ニッシンイクス、日本オスモ㈱
㈱ハウスドクター、藤本窯業㈱、山中三方園

お問合せ先　ツシマ株式会社 ウッディランド事業部
〒530-0043　大阪市北区天満4丁目2番15号　吉岡ビル302号
TEL 06-6356-7881　FAX 06-6356-7225